

※※2017年8月改訂(第6版)
※2008年7月改訂

貯 法：気密容器、室温保存
(「取扱い上の注意」の項参照)
使用期限：容器、外箱に表示

日本標準商品分類番号
875200

商品番号 79

承認番号 (61AM)3687
薬価収載 1988年7月
販売開始 1988年7月

漢方製剤 ^{ヘイ イ サン} テイコク平胃散エキス顆粒

※〔組成・性状〕

| | | |
|----|--|--------------------------------|
| 組成 | 本品 7.5 g 中 日局 ソウジュツ・・・・・・・・・・ 4.0 g 日局 コウボク・・・・・・・・・・ 3.0 g 日局 チンピ・・・・・・・・・・ 3.0 g 日局 タイソウ・・・・・・・・・・ 2.0 g 日局 カンゾウ・・・・・・・・・・ 1.0 g 日局 ショウキョウ・・・・・・・・・・ 0.5 g 上記の混合生薬より製した水製乾燥エキス 1.90 g を含有する。 | |
| | 添加物 | 乳糖水和物、結晶セルロース、 ステアリン酸マグネシウム |
| 性状 | 剤形 | 顆粒剤 |
| | 色 | 淡褐色 |
| | におい | 特異なにおい |
| | 味 | 甘苦い |
| | 識別コード | TEIKOKU 79 (分包品に表示) |

〔効能・効果〕

胃がもたれて消化不良の傾向のある次の諸症：急・慢性胃
カタル、胃アトニー、消化不良、食欲不振

〔用法・用量〕

通常成人1日3回、1回2.5gを食前に経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

〔使用上の注意〕

1. 重要な基本的注意

- (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- (3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

2. 相互作用

併用注意 (併用に注意すること)

| 薬剤名等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 |
|---------------------------------------|---|--|
| カンゾウ含有製剤 グリチルリチン酸 及びその塩類を含有する製剤 | 偽アルドステロン症が あらわれやすくなる。 また、低カリウム血症 の結果として、ミオパ チーがあらわれやすくな る。 (「重大な副作用」の項参照) | グリチルリチン酸 は、尿細管でのカ リウム排泄促進作 用があるため、血 清カリウム値の低 下が促進されるこ とが考えられる。 |

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる
調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

重大な副作用

- 1) 偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、
ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の
偽アルドステロン症があらわれることがあるので、
観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、
異常が認められた場合には投与を中止し、カリ
ウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- 2) ミオパチー：低カリウム血症の結果としてミオパ
チーがあらわれることがあるので、観察を十分
に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認
められた場合には投与を中止し、カリウム剤の
投与等の適切な処置を行うこと。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量す
るなど注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、
妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上
の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投
与すること。

6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験
が少ない。〕

〔取扱い上の注意〕

1. 直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に保
存すること。
2. 吸湿性であるので、開封後は湿気に注意して保存す
ること。

〔包 装〕

500 g 2.5 g × 42包 2.5 g × 252包

※※〔文献請求先〕

帝國製薬株式会社 医薬営業部 製品情報室
〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町6番6号
TEL：0120-189-567

※※販 売 元  帝國製薬株式会社
香川県東かがわ市三本松567番地
※ 製造販売元  帝國漢方製薬株式会社
徳島県阿波市土成町土成字北原80番11